

イスラエル経済月報(2015年9月)

在イスラエル日本国大使館 (担当: 経済班 松本理恵)

<目次>

主要経済指標.....	2
当地報道(経済関連) 9月.....	8
日本企業 in イスラエル.....	10
展示会・国際会議の今後の予定.....	12

主要経済指標

- 7日 8月末時点の中央銀行の外貨準備高は890億ドル。前月比5.7億ドル増(中央銀行)
- 8日 ユダヤ新年でのイスラエル住民の数は841.2万人、前年比1.9%増(中央統計局)
- 10日 8月期の物品輸出総額は136億シェケル、物品輸入総額は206億シェケル。貿易赤字は70億シェケル(中央統計局)
- 13日 8月期の消費者物価指数は0.2%低下。過去12か月で0.4%マイナス(中央統計局)
- 17日 第二四半期の経済成長率を0.3%から0.1%に下方修正(中央統計局)
- 20日 インフレ予想、7月期の1.0%から8月期は0.5%に引き下げ(中央銀行)
- 24日 8月期の失業率は5.3%で同率を維持。(中央統計局)

1. 経済成長率

● 第二四半期の経済成長、0.3%から0.1%に下方修正

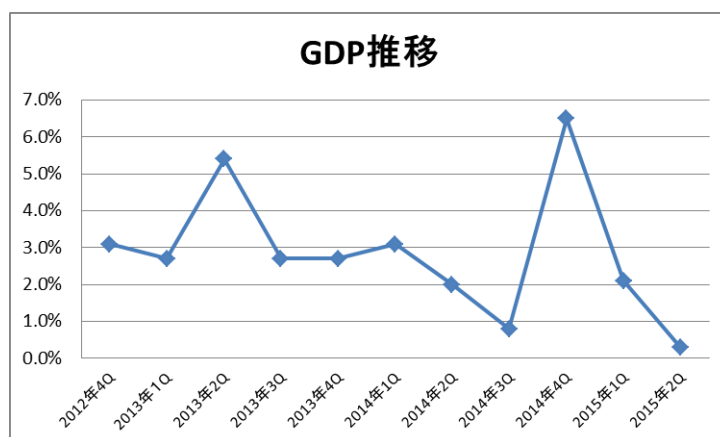
中央統計局は、2015年第二四半期の経済成長を0.3%から0.1%に下方修正し、財務省も今後2年間の成長率推定値を下げた。

多くのエコノミストは、8月の「0.3%」というゼロに近い成長率が、上方修正されることを望んでいた。しかし、輸出と投資の急激な低下により、成長率は下方修正となった。個人消費の推定値が0.9%から0.6%に引き下がったのに対し、輸出については12.5%低下という予想から若干上方修正され、11.9%低下となった。

9月上旬には、カハロン財務相は付加価値税を1%下げて17%とし、新年の祝日ロシユハシヤナを前に酒税の大幅な引き下げも実施した。

財務省は2015年と2016年の年間成長予測を、それぞれ2.6%及び2.9%に引き下げた。見通しは一層悲観的であるにも関わらず、成長を2.9%とし、財政赤字目標の達成には影響しないとする楽観的な見通しを維持したものである。

労働党のヤシモビツチ議員は、経済パフォーマンスの低下はネタニヤフ首相の政策の結果であり、連立与党は何もしなかったと述べた。「最悪なのは、新たな予算案にすら、低成長や生活コストに関する反映が見られないことです」。一方、イスラエル製造業協会は政府の経済政策を賞賛。「財務大臣は最近、投資と輸出を支援する新プログラムを発表したし、イスラエル銀行は為替調整の為に尽力している」。



2. CPI (消費者物価指数)

- 2015年8月期は0.2%低下、過去12か月で0.4%マイナス

中央統計局は、消費者物価指数(CPI)が8月期に0.2%低下したと発表した。CPIは過去12か月で0.4%マイナスとなるが、この一年のエネルギー価格の低下を計算から除けば、0.4%上昇した計算となる。CPIは2015年頭から0.2%低下しており、4か月続いた上昇傾向は8月でストップした。

8月の主な価格下落として、生果物(0.6%)、衣類及び履物(3.7%)、交通及び通信(1.7%)、石油(4%)がある。主な価格上昇としては、文化・エンタメ(1.8%)、生野菜(1.3%)、住宅価格(0.7%)がある。

3. 貿易 (EXPORT & IMPORT OF GOODS)

- 2015年6-8月期、輸出はハイテク以外引き続き減少。輸入は年率8.3%増。

中央統計局が発表した2015年8月期の物品輸入総額(ダイヤモンド及び燃料等含む)は206億シエケル、物品輸出総額は136億シエケルとなった。

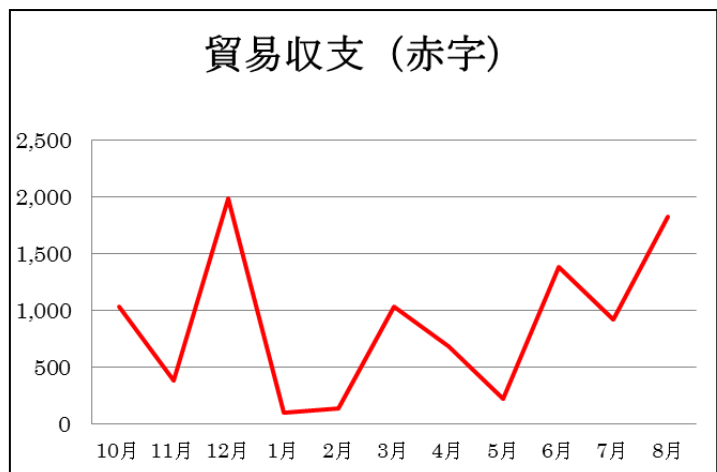
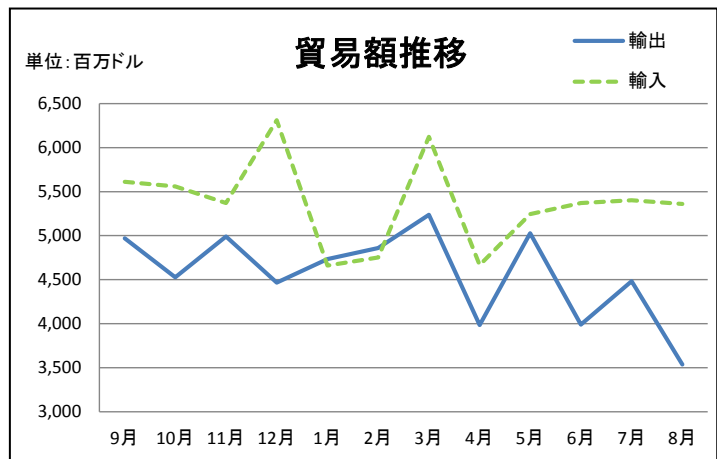
物品輸入(船舶、航空機、ダイヤモンドと燃料を除く)は、3-5月期の4.9%増加に続き、6-8月期で年率8.3%増加した。

物品輸出(船舶、航空機、ダイヤモンドを除く)は、3-5月期に10.7%減少したのに続き、6-8月期で年率9.0%低下している。

物品輸入総額(船舶、航空機、ダイヤモンドを除く)に対する、物品輸出の割合は、前年同期の74.6%に対し82.0%。貿易赤字は合計で70億シエケルとなった。

1-8月期の貿易赤字(物品のみ)は、前年同期の約341億シエケルに対し、約226億シエケルとなった。

8月期の貿易は、シエケル相場に影響された。8月期の為替相場は、4か月の高騰を終え、対ドルで1.5%のシエケル安となった。また、対ユーロで2.7%、対日本円及び対ポンドで1.6%のシエケル安となった。



注: 上記グラフはダイヤモンド・船舶等を含むトータル/米ドル
(出展: イスラエル中央統計局、報道)

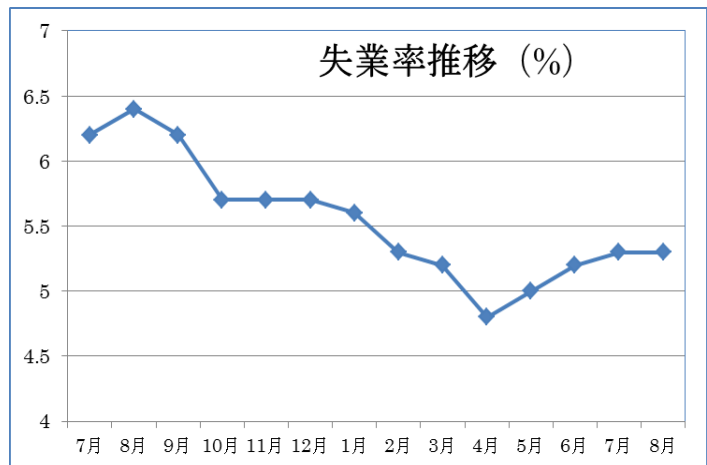
4. 失業率推移

- 2015年8月期は、同率の5.3%を維持

中央統計局は、8月期の失業率は、年率5.3%を維持したと発表した。データによれば、2015年8月のイスラエルには、367万人の就労者と20.4万人の失業者がいる計算だ。

15歳以上の就業率は、7月の63.9%に対し、8月は64.5%となった。男女別に見ると、女性が58.5%から59.5%に上昇した一方、男性は69.7%から69.6%にわずかに低下している。

25-64歳のレンジについて見ると、就業率は7月期の79.7%から80.3%に上昇しているが、こちらも、女性が74.3%から75.8%に上昇したのに対し、男性は85.3%から85.0%に低下している。

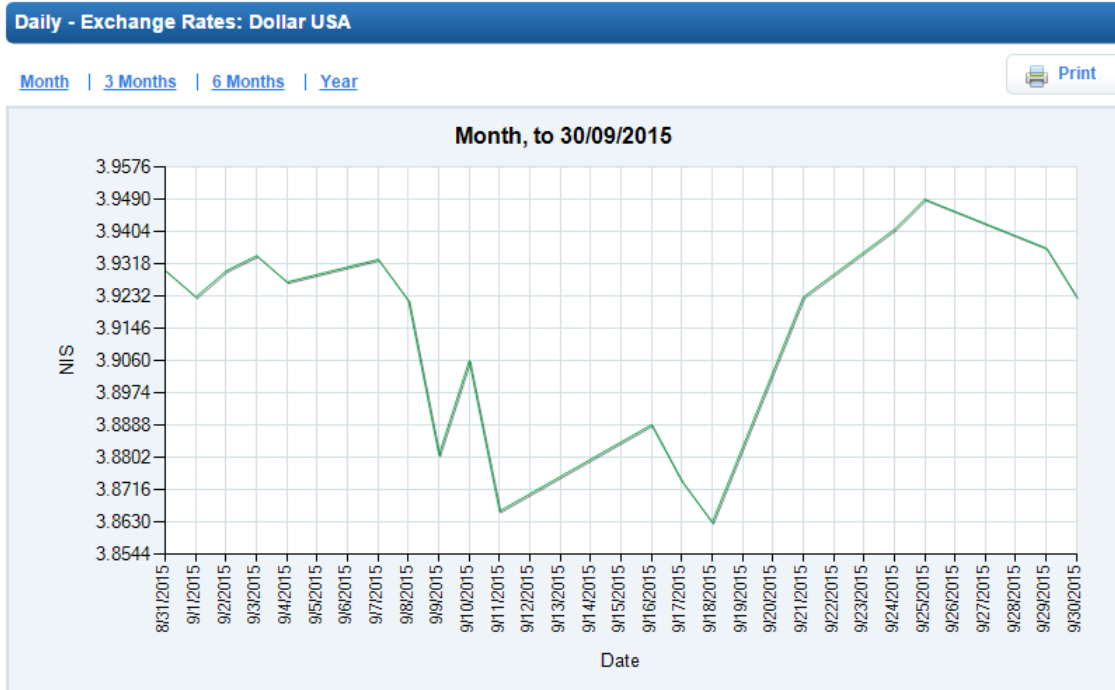


(出展：イスラエル中央統計局、報道)

5. 為替推移

● ドル/シエケル推移

過去1か月間（2015年9月1日～9月30日）



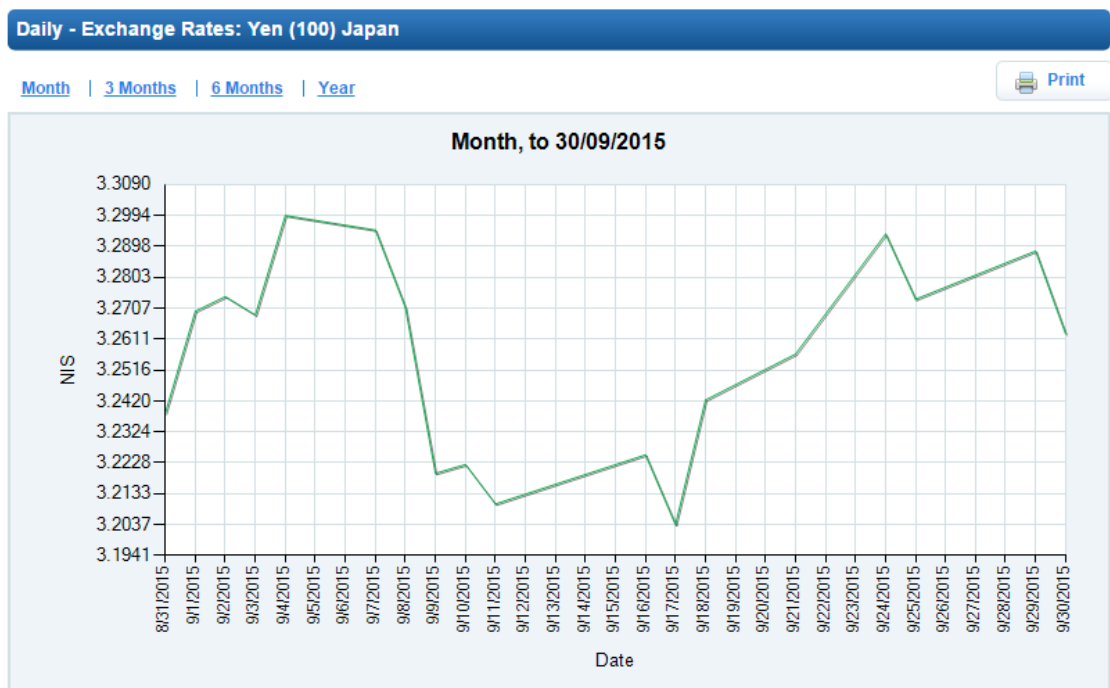
過去1年間（2014年10月1日～2015年9月30日）



（出展：イスラエル中央銀行）

● 円/シエケル推移

過去1か月間（2015年9月1日～9月30日）



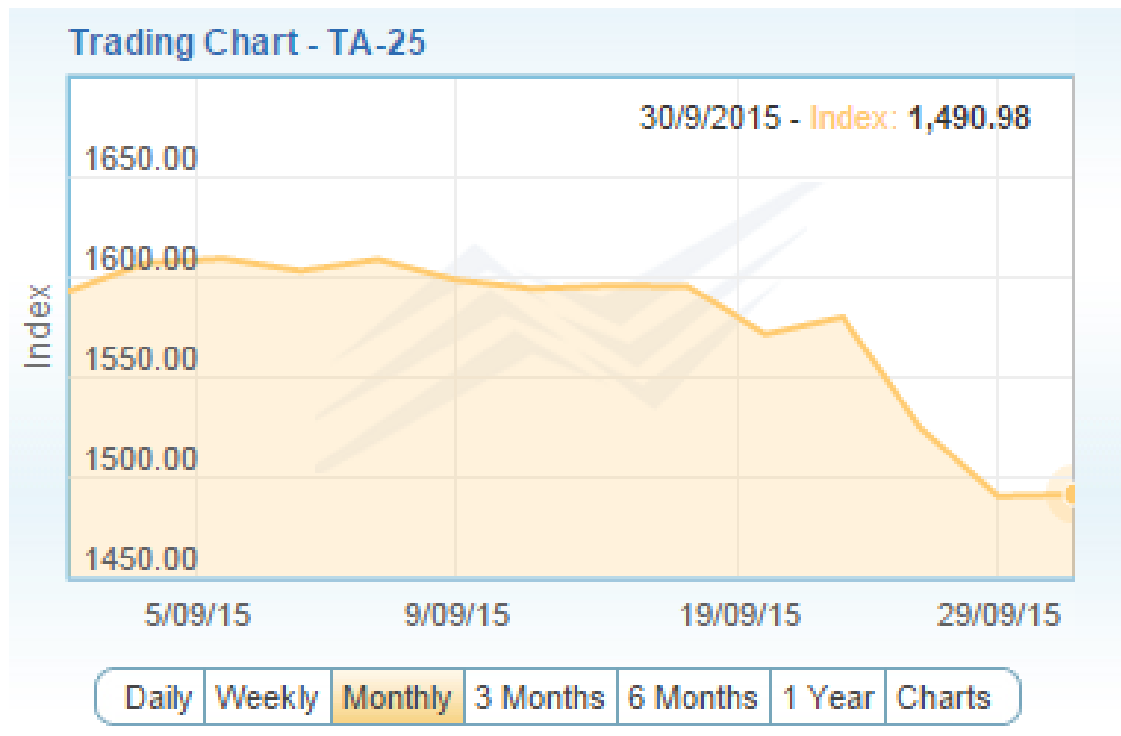
過去1年間（2014年10月1日～2015年9月30日）



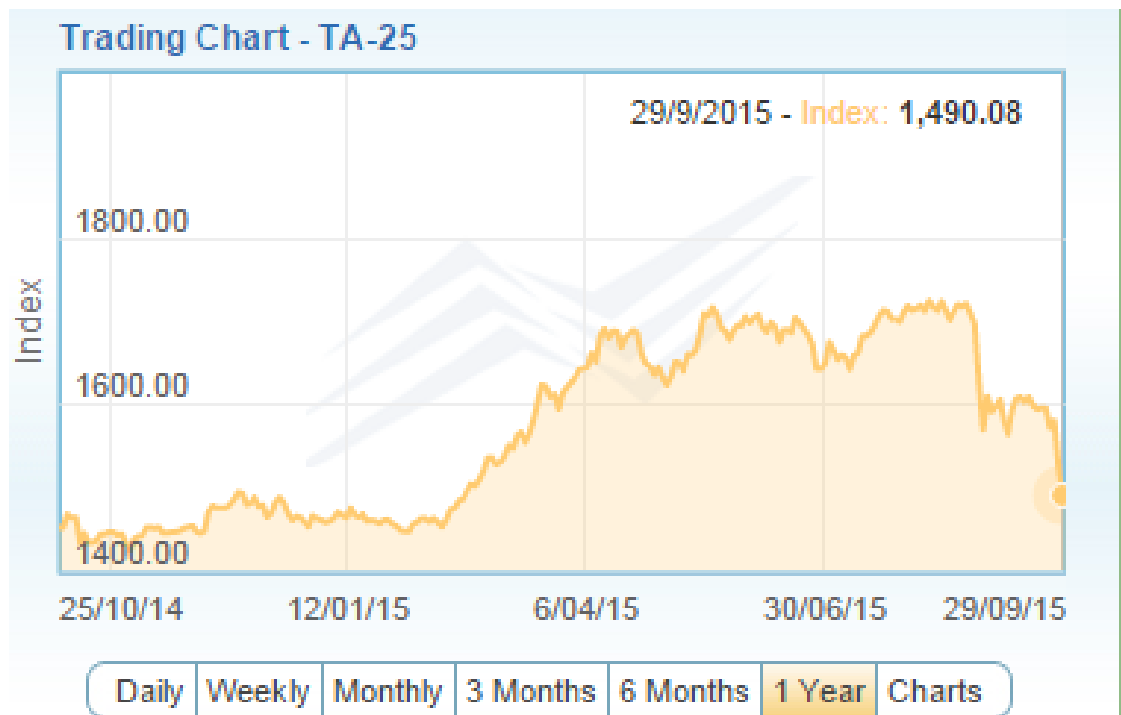
（出展：イスラエル中央銀行）

●主要株価（TA25）推移

過去1か月間（2015年7月1日～7月31日）



過去1年間（2014年8月1日～2015年7月31日）



（出展：テルアビブ証券取引所）

当地報道（経済関連） 9月

（※ J：エルサレム・ポスト紙，H：ハアレツ紙，G：グローブス紙，M：マーカー紙）

- 1日 テルアビブライトレール、アールゾロフ駅の工事開始。地下鉄工事は予定より前倒しされ、10月の予定が今週後半になった。工事に伴い、一部交通規制が行われる。（G）
- 2日 中国の投資グループ・フォースンが、イスラエル化粧品メーカーのアハバ社買収へ。投資総額は3億シェケルと見込まれ、フォースンは51%超の株式を保有する。（G）
- 2日 エジプトのガス田エニが発見され、リバイアサンからエジプトへの輸出の道は狭まっている。専門家は「ガス計画の見直しが必要だ」と述べている。（G）
- 3日 カハロン財務相は、経済成長を加速させるために、VATの引き下げを検討していると発表した。また、法人税の1.5%引き下げについても検討している。（J）
- 3日 経済省は、イスラエル鉄道によるカナダ・ボンバルディア社からの車両62台の調達契約について、許容可能な計画となっていないとして凍結した。（M）
- 4日 公共放送法案が賛成23-反対18で可決。同法22条は「放送は偏見や個人的意見の表明を含んではならない」としており、言論の自由の制限が懸念される。（G）
- 7日 新年の祝日を目前に控えた買い込みにより、野菜価格が急騰。トマトが75%、キュウリが25%上がっており、週末に向けて更なる高騰が見込まれる。（J）
- 7日 経済省が、外国で行う展示会のうち、経済省又は輸出機構が後援するものについて、安息日の営業を禁じたシャバット令の適用を決めた。（G）
- 8日 熱波の影響とユダヤ新年の買い込みのために、野菜価格が高騰していることから、アリエル農業相はトマトとキュウリの無関税輸入を許可した。（J）
- 8日 米ベンチャーファンド「500スタートアップス」がイスラエルにオフィスを開業。世界1,200社への投資実績を生かし、来年10~20社への投資を見込む。（G）
- 9日 デリ経済相はガスアウトラインへの署名を拒んでおり、同案は引き続き止まっている。首相府は、議会の議決なしに経済大臣の権限を内閣に移す方法を模索中だ。（M）
- 10日 マイクロソフトがイスラエルのスタートアップ・アダロム社を買収し、サイバー研究開発センターに。買収額は非公開だが、2.5~3.2億シェケルと見込まれる。（H）
- 10日 カハロン財務相は、VAT、法人税に続き、酒税の引き下げを表明。ビールは46%、ハードリカーは21%下げとなり、2.5億シェケルの税収減が見込まれる。（H）
- 11日 エルアル航空が、ボーイングドリームライナー15機を調達する。購入及びリースにより、価格は合計8~9億ドルとなる。（J）
- 16日 イスラエル・ソーダストリーム社が、米ペプシコとの販売提携を強化する。コーラ味など、ソーダ水に味付けができるフレーバーカプセルを販売へ。（G）
- 16日 ゴラン高原や死海北部からのデーツやザクロは、政治的に機微な製品となっている。欧州議会が入植地産品のラベリングを求めており、生産者には打撃だ。（M）
- 16日 巨額の賄賂疑惑にもかかわらず、カハロン及び財務省は、中国人労働者の受け入れを奨励している。目的は建設需要を満たすことだ。（M）

- 17日 タマル油田の幹部がロンドンでユニオンフェノサ代表と会合。ガスアウトラインの最終承認前ではあるが、ガス契約の詳細について議論したとみられる。(M)
- 17日 カハロン財務相は輸出への政府保証を8億ドル拡大するよう求めた。当局が拡大を承認すれば、輸出への政府保証枠は最大35億ドルとなる。(M)
- 17日 アリエル農業相の輸出解禁宣言後も野菜価格は上がり続けている。月初と比べ、キュウリは100%、トマトは87%上昇。輸入野菜が届くのは2週間後だ。(G)
- 18日 ロイターが「最もイノベティブな大学100」を発表し、テルアビブ大学が75位、テクニオンが76位にランキングされた。半数以上が米国の大学。(J)
- 20日 内閣は温室効果ガスを2030年までに25%削減する計画を承認。同計画の想定コストのうち5億シエケルは予算措置し、3億シエケルは民間投資を見込む。(G)
- 21日 イスラエル政府、中国人の建設技術者2万人の受入れへ。カハロン財務相「中国人労働者は技術が高く、これにより住宅建設の効率性が2~3割上がる」(各紙)
- 21日 海南航空、来年4月から、テルアビブ-北京間での直行便就航を発表。運行時間は、北京発が11時間、テルアビブ発が9時間半となる予定。(Yネット)
- 24日 国家経済会議の議長ユージン・カンデル退任後、後任は未定で、副議長の離任も近い。多くの経済学者が打診を断っており、首相府は後任探しに難儀している。(M)
- 24日 デルタ航空、ニューヨーク-テルアビブ間の航空路線を来年5月から週4便増便し、週11便に。週2,300席の増加となる。夜間便は1,085ドルとなる見込み。(G)
- 25日 カハロン財務相、第二四半期の低成長を受け、経済成長と輸出増加のためのパッケージを発表。輸出保険への保証や中小企業や農家向けの新たな融資制度等。(各紙)
- 25日 イスラエル中央銀行が10月の公定歩合を0.1%に据え置くと発表し、テルアビブ証券取引所は3%を超える急激な下落を見せた。(M)
- 25日 野菜が依然高い。農業省は輸入緩和したが、輸入野菜は市場にまだ届かず。防衛筋は、治安上の問題はないと見ているが、同省はガザからの輸入を認めていない。(M)
- 25日 サマータイム終了は10月25日。スマホが昔の例によって9月25日から冬時間に自動切替になった場合、手動で「アテネ」タイムゾーンに合わせると良い。(Kikar)
- 28日 デリ経済相、イスラエル鉄道にシャバット期間中の工事中止を指示。イスラエル鉄道側は裁判所に申し立てしており、結果はスコット休暇明けとなる予定。(各紙)
- 28日 製薬メーカー・テバ社が日本の厚生労働省から多発性硬化症治療剤「コパキソン」の製造販売承認を得た。日本国内での販売は武田製薬が行う。(G)
- 29日 首相がエイラットにカジノ開業を構想するも、警察等から反対の声。90年代と同じ理由で、財務副大臣は「イスラエルのカジノは社会的災害だ」としている。(M)
- 29日 シャバット中の鉄道運行に関し、政府内でも意見が割れており、経済省と運輸省は互いを批判している。現状、土曜日の運行は平常通り行われている。(M)
- 30日 ネタニヤフ首相がカツ運輸相及びレビン観光相に対し、エイラットにカジノ建設を指示。反対が多く、先行きは不透明な情勢。(H)
- 30日 テルアビブ大学、アントレプレナーの数で世界第9位に。また卒業生が稼ぎ出す金額については、米国を除くと、世界一に。(M)

日本企業 IN イスラエル

(出展：各社発表)

ソフトバンク、イスラエル企業向けに「イノベーションプログラム」説明会（3日）

ソフトバンク株式会社（本社：東京都港区、代表取締役社長：孫正義）は、「イノベーションプログラム」を創設し、①スマートホーム、②デジタルマーケティング、③コネクテッド・ビークル、④ヘルスケアの4分野でパートナー募集を実施。

3日、テルアビブ市内でイスラエル企業向けに公募説明会を実施した。

<http://www.softbank.jp/biz/innovation/>

スタートアップの祭典「DLD」開催。日本から約20社が参加（6～12日）

テルアビブ市内にて、スタートアップの祭典「DLD conference 2015」が開催された。

株式会社イスラテック（本社：東京都港区、代表取締役：加藤清司）及び株式会社サムライインキュベート（本社：東京都品川区、代表取締役 CEO 榊原健太郎）が共同で、日本からは初となる使節団を企画。約20社が参加した。

イスラテック社によるレポート

<http://diamond.jp/articles/-/79293>

サムライインキュベート社によるレポート

<http://www.nikkei.com/article/DGXKZO91917690Y5A910C1X12000/>

ソニーら7社、イスラエル企業と日本企業とのマッチングイベントに登壇。（6日）

在イスラエル日本国大使館、株式会社サムライインキュベート、ハポアリム銀行の共催により、テルアビブ市内で6日、「Big in Israel – JP Giants meets IL Investors and Startups」が開催され、ソニーら7社の日本企業が登壇し、各社の活動を紹介した。



(写真(左)：在イスラエル大 山本敏生公使、
(中)：ハポアリム銀行 ヤイル・サルシ頭取
(右)：株式会社サムライインキュベート 榊原健太郎代表取締役)

「BIG IN JAPAN」イベントに東京証券取引所等が登壇。（6日）

デロイトイスラエル及び GreenbergTraurig 法律事務所の主催により、「Big in Japan – Startup Nation meets the Rising Sun」イベントが開催。日本から東京証券取引所や三井物産等が登壇し、日イスラエル経済について議論した。

<http://www.gtlaw-israelpractice.com/2015/09/08/greenberg-traurig-and-deloitte-co-host-conference-on-israeljapan-economic-opportunities/>

ソースネクスト，タスク管理アプリ「ANY.DO」と業務提携（8日）

ソースネクスト株式会社（本社：東京都港区，代表取締役社長：松田 憲幸）は，タスク管理アプリ「Any.Do To Do リスト」を保有する Any.Do, Inc との業務提携契約を締結。同アプリは全世界で一千万インストールを誇る人気アプリであり，今後，ソースネクスト社が同アプリの日本国内での販売を予定している。

http://v4.eir-parts.net/DocumentTemp/20151008_022347815_undog355rjdwn5520jhnjeu_0.pdf

関西とイスラエル，先端技術分野でのビジネス交流推進へ連携（16日）

近畿経済産業局と大阪商工会議所では，イスラエル経済省等と連携し，今後，関西とイスラエルとの先端技術分野でのビジネス交流をより一層推進するための取組を実施する。両国企業の技術アライアンスやオープンイノベーション創出を目指す。11月16日には，大阪市内において「日本-イスラエルビジネス交流フォーラム in 関西」を開催予定。

<http://www.kansai.meti.go.jp/3jisedai/27event/israel/forum.html>

旭化成，イスラエル医療機器メーカー・キーマメディカルを買収（17日）

旭化成株式会社（本社：東京都千代田区，社長：浅野 敏雄）のグループ会社である ZOLL Medical Corporation（本社：米国マサチューセッツ州，CEO：Richard A. Packer，以下：「ZOLL 社」）は，鬱血性心不全の初期兆候に対する革新的なモニタリング製品の技術開発を行うイスラエルの医療機器メーカー，Kyma Medical Technologies, Ltd. を約 35 百万米ドルで買収した。

<http://www.asahi-kasei.co.jp/asahi/jp/news/2015/ze150917.html>

SBI，自動車特化型サイバーセキュリティ ARGUS 社に投資（24日）

SBI インベストメント株式会社（本社：東京都港区，代表取締役執行役員社長：川島 克哉）は，同社が運営するファンドを通じてイスラエルのベンチャー Argus Cyber Security Ltd. への出資を実施。

今後，SBI グループとしても日本国内での保険事業においてアルガス社ソリューションを活用した事業展開を検討する等していく。

http://www.sbigroup.co.jp/news/2015/0924_9704.html

パナソニックと TOWERJAZZ の合弁企業が無線通信等向け PF 開発（24日）

イスラエルのタワーセミコンダクター社とパナソニック社の合弁会社であるパナソニック・タワージャズ セミコンダクター株式会社 (TPSCo，本社：富山県魚津市，最高経営責任者：ガイ エリストフ) は，無線通信，車載レーダー，イメージングおよびスキャニング等のアプリケーションを対象とする，初の 65nm ミリ波 110GHz 帯 RFCMOS プラットフォームを開発した。富山県魚津市の半導体工場において信頼性評価を実施している。

<http://www.towerjazz.com/jp/prs/2015/0924.html>

展示会・国際会議の今後の予定

※詳細情報を希望される場合は御連絡ください。

※日本からお越しになる方には、現地企業との個別アポイント等、各種サポートをさせていただきますので、まずはお問い合わせください。ぜひ大使館にもお立ち寄りください。

IAC (10月12日～16日, エルサレム)

第66回国際宇宙会議。「Space – The Gateway for Mankind's Future」をテーマに、発表やワークショップ等が行われる。

<http://www.iac2015.org/>

WATEC (10月13日～15日, テルアビブ)

水技術と環境制御に関する国際会議。「Water Efficiency」, 「Start-up Nation から Partnership Nation へ」などのパネルディスカッションが行われる他、水、環境、エネルギー等に関する発表が多数行われる。

<http://watec-israel.com/>

GO4ISRAEL(10月26日, テルアビブ)

投資家を対象としたイスラエルの国際経済イベント。欧州、米国及び中国からイスラエルへの投資をターゲットとして、投資家や金融分野のトップビジネスマンにネットワーキングの機会を提供する。

<http://conference.go4israel.com/2015/>

FISCOM (10月27日～29日, テルアビブ)

オフィス向け技術、コンピューティング、スマートビジネスソリューション等についての展示会。インテリジェントオフィス、ガジェット、オフィスデザイン等をテーマに多数のブースが出展する。

http://www.stier.co.il/FISCOM/index_en.asp

ACLIMA (11月3日～5日, テルアビブ)

空調、暖房、冷凍及び換気システムを取り扱う展示会。2年に1回開催。

http://www.stier.co.il/ACLIMA/index_en.asp

GLOBAL MARKETS INTERNATIONAL CONFERENCE (11月10日、テルアビブ)

投資市場に関する年次国際会議。タンデムキャピタル社主催。昨年は500人超が参加。

https://global2015.herokuapp.com/menu_links/5

ISRAFOOD (11月24日～26日、テルアビブ)

イスラエル最大の食品及び飲料に関する展示会。メーカーや輸入事業者と、小売事業者をつなぐための主要プラットフォームとなっている。「Israeli Food & Hospitality Week」の一環として開催。

http://www.stier.co.il/ISRAFOOD/index_en.asp

GLOBES CONFERENCE (12月6日～7日、テルアビブ)

イスラエルの新聞 Globes 社が主催する、年1回の経済会議。イスラエル及び各国から、4,000人の参加が見込まれる。主なスピーカーは、元在バグダット米国大使 チャールズ・リース氏、欧州中央銀行理事ザビーネ・ラウテンシュレーガー氏、マッキンゼー&カンパニー 国際事業部長 ドミニク・バートン氏等。

<http://www.globes.co.il/news/home.aspx?fid=7600&leadid=492>

LSIE (12月9日～10日、テルアビブ)

ライフサイエンス及び医療産業に関する国際イベント。専門会議や展示会等が開催される。医療機器・製薬メーカー等が参加。ビジネスネットワーキングもあり。

http://www.stier.co.il/LSIE/index_en.asp

CYBERTECH (1月26日～27日、テルアビブ)

サイバーセキュリティに関する最新の技術・イノベーションを紹介する国際会議・展示会。会議の主目的は企業同士のネットワーキング、連携の強化及び新たな結びつきを作ることにある。主な対象分野は金融機関、公共施設、防衛産業、研究開発、製造、通信、健康産業及び政府機関である。

<http://www.cybertechisrael.com/>